

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開

公益財団法人星総合病院では、本院の倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 【研究課題名】

膵管内結石に対する POPS 下 EHL の有用性と安全性に関する研究

### 【研究期間】

2022 年 3 月～2032 年 2 月

### 【研究の意義・目的】

慢性膵炎などに伴って膵臓の中にできる石(膵石)は、膵管という管をふさぎ、強い腹痛や膵炎を繰り返す原因になります。従来の治療では、バスケットやバルーンを用いた採石、衝撃波による石の破砕 (ESWL)が行われてきましたが、大きな石や複数の石、膵管の狭窄を伴う症例では治療が難しいことがあります。最近では、より細かく膵管内を観察しながら治療ができる「経口胆膵内視鏡(POPS)」という技術が登場し、その下で電気水力破砕(EHL)を用いた碎石術が普及しつつあります。海外では、POPS 下 EHL による膵石の破砕で約 8 割の患者さんで石が完全に除去できたという報告もあり、安全性も一定の評価を受けています。また、ESWL との比較でも、POPS の方が治療回数を少なくできる可能性が示されています。このような背景のもと、本研究では POPS 下 EHL を中心とした内視鏡治療が、従来の治療と比べてどのような特徴・利点・課題があるのかを、過去の診療記録をもとに検討します。将来的には、より効果的で安全な治療法の選択に役立てることを目指しています。

### 【研究の対象となる方】

2022 年 3 月～2032 年 2 月までに当院で膵管内結石に対して POPS 下 EHL を施行した患者を対象とします。

### 【研究の方法】

後ろ向き観察研究

当院で膵管内結石に対して POPS 下 EHL を施行した患者に対して、患者背景、治療成績、偶発症などの医療情報を電子カルテから収集します。その際、個人情報に関わる項目はすべて除外した上で解析を行います。予後に関してはカルテから追跡困難な場合は、かかりつけ医療機関や本人、家族に電話や FAX で確認させていただく場合があります。

**【研究組織】**

〈研究代表機関〉

公益財団法人 星総合病院

(研究責任者)

公益財団法人 星総合病院 石野 淳

(研究分担者)

消化器内科 医師 鈴木友里子

消化器内科 医師 金生直哉

消化器内科 医師 佐久間洋寿

消化器内科 医師 鈴木智大

消化器内科 医師 高橋龍平

**【他の機関等への試料等の提供について】**

ありません。

**【本研究に関する問い合わせ先】**

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で情報提供いたします。

〒963-8501 福島県郡山市向河原町 159-1

TEL 024-983-5511 FAX 024-983-5588

**【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】**

試料・情報が該当研究に用いられることについて研究対象者ご本人または代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取消すことは困難な場合もあります。

〒963-8501 福島県郡山市向河原町 159-1

TEL 024-983-5511 FAX 024-983-5588